



はたち

そのだ
藪田

そうじろう
窓二郎さん (梅高区)



はるた
春田

あやな
彩菜さん (小長井区)

私は、皆さんに伝えたいことが三つあります。

一つ目は将来の夢についてです。私は今、ある会社に勤めています。上司に恵まれ、仕事にも慣れてきました。私の将来の目標は、自分で会社を立ち上げて幸せな家庭を築くことです。

二つ目は、今を生きる大切さです。時間や命は有限だからこそ、自分をどれだけ満足させられるか、後悔の無い生き方をしたいです。身近な人や家族、友人をもっと大切に思い、常に感謝をしていきたい。相手を大切に、丁寧なお付き合いをする。そんな生き方をしていきたいです。

三つ目は、町外に2年間住んでみて正直に思った川根本町のことです。それは「交通が不便」「娯楽が少ない」「働く場所がない」ということです。しかし、街に住んでどんなに美味しい物を食べても、最後に出てくるお茶が川根本町のお茶でないと寂しく感じます。お茶が美味しい川根本町で生まれ育った人は、いつでも心に川根茶があって、どこにいても何をしても「忘れない」のではないのでしょうか。

最後になりますが、人生は冒険と挑戦の繰り返しです。いろいろな経験が人を大きくします。私は多くの愛情を受け何不自由なく生きてきました。私もこれからの皆さんの愛を、川根本町に返していきたいと思えます。

私たちは、これまで家族やお世話になった先生方、仲間、地域の皆様に支えられ、故郷である川根本町で無事に二十歳を迎えることができました。

私は現在、「英語教員になる」という目標に向け、大学で教育学や言語学、心理学などを学んでいます。そうした中で、多様な知識や理解を得るとともにあらゆる面で視野の拡大を図るよう努めています。日々、同じ目標を持つ仲間と感化され有意義な学生生活を送ることができています。加えて、昨年は母校である本川根中学校にて読み聞かせボランティアをさせていただくなど、自ら積極的に活動し、経験の多様化・充実化を図っています。私は高校進学を機に、町外の学校へ通うことになりましたが、今も変わらず川根本町にある自宅から毎日通学しています。魅力あふれるこの町で生活を送り、勉学に励むことができていることは誇りであると感じています。

私は、自身が持つ知識や経験を教育で活かし、未来を担う次世代の育成を通して川根本町に貢献することができるよう努力していきます。近年社会のあり方は大きく変化し、各々の明確な意志や責任のある行動が求められています。二十歳を迎えた今、こうした状況に対し柔軟に対応し社会の一員として責任感を持ち希望を持って豊かな人生を歩んでいきます。

恩師からのメッセージ



ますい りょう
増井 涼さん

二十歳になった皆さんに会えてうれしく思います。夢を叶えた人、挑戦中の人、新しい夢を追いかけている人などさまざまだと思います。なりたい自分に近づけるようにしっかりと進んで行ってください。

たくましく、美しく輝く皆さんの姿をうれしく思います。これから皆さんの進む道には必ず皆さんのピンチが訪れます。「ピンチは自分が成長するチャンス」と捉えて、挑戦を続けてほしいと思います。



おおた ゆき
太田 由喜さん

二十歳になるまで育ててくれた親に本当に感謝しています。『ありがとう』と改めて伝えたいです。

私は、看護師資格取得を目指して大学で勉強しています。

将来はたくさん人を救えるような看護師になれるように頑張りたいです。



さとう ひかる
佐藤 光さん (高郷区)

将来は海外で活躍したいという目標があります。

専門学校で学んだ外国語を活かし自分を信じて挑戦を続けたいです。

学生の頃から、私を支えてくれた先生方には本当に感謝しています。時には失敗することもあると思いますが、これからも応援してほしいと思います。



こやぶ みゆき
小藪 美幸さん (藤川区)

現在勤めている会社で、自分に与えられた仕事を責任を持って取り組み、会社に必要とされる人材になれるようにがんばります。

両親には、まだまだ迷惑をかけるかも知れませんが、見守ってほしいです。

これからもよろしくお願ひします。



もろた たくみ
諸田 拓海さん (久野脇区)

はたちのインタビュー